

ARDS で生存した症例における CT 所見の変化についての後ろ向き研究

1. 研究の対象

済生会熊本病院で 2006 年から 2016 年に ARDS と診断され治療を受け回復した症例

2. 研究目的・方法

目的：

ARDS で治療を受け生存した症例を対象に、回復後の CT がどのようなパターンをとるのか、病初期の CT 所見がどのように変化しているかを観察する。これにより病初期から回復時の CT 所見を予測し、適切な病勢評価が可能になると思われる。

方法：

治療前・治療後の CT を放射線科医の主観的評価で比較検討を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

CT 画像、年齢、APACHE II スコア (全身状態の重症度)、SOFA スコア (多臓器不全の程度)、McCabe スコア (基礎疾患の予後)、肝硬変の有無、病態が直接肺損傷、敗血症の有無、 PaO_2/FiO_2 、HRCT 上の線維増殖性病変の程度 (HRCT スコア) 等

4. 外部への試料・情報の提供

CT 画像を CT 所見の読影のため大阪国際がんセンター放射線診断科へ提供します。読影後は破棄いたします。また対応表は、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

大阪国際がんセンター放射線診断科副部長 澄川 裕充

済生会熊本病院呼吸器内科部長 一門和哉

大阪国際がんセンター放射線診断科 中西克之, 酒井 美緒, 前田 登, 田中 淳一郎, 佐藤 行永, 塚部 明大

伊丹公立共済組合近畿中央病院放射線科部長 上甲 剛

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院呼吸器内科

研究責任者：部長 一門 和哉

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号

電話：096-351-8000(代)

研究代表者：

大阪府立成人病センター 研究所病院共同研究連携室

室長 片山 和宏

住所：〒537-8511 大阪市東成区中道1-3-3

Fax：06-6977-6151

e-mail：kbyori01@mc.pref.osaka.jp

以上